

第1章 理念・目的

(1) 現状説明

点検・評価項目①：大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

評価の視点1：学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の設定とその内容
 評価の視点2：大学の理念・目的と学部・研究科の目的の連関性

<大学の理念・目的の適切な設定>



図表 1-A 大学の理念・目的、学部・研究科の目的、ポリシーの連関性（資料 1-1）

大阪医科大学（以下、本学）では上記のような、大学の理念、教育目的、教育目標を設けている。（資料 1-2【ウェブ】、資料 1-3）。（基礎要件確認シート表 1）

○本学の理念

・建学の精神

医育機関の使命は医学教育と医学研究であり、またそれらは実地の医療に活かすことで達成される。

・学是：「至誠仁術」

「至誠仁術」には「誠実」「医学教育」「医学研究」「実地医療」「国際化」といった 5 つのキーワードが込められている。

・ 本学の使命（学則第 1 条）

本学は、寄附行為の目的に基づき、人類の健康と福祉の維持向上に役立ち、国際的視野を持つ最良の医療専門職、教育者、あるいは研究者として活躍する人材の育成を使命とする。

○ 本学の目的（学則第 5 条）

本学は、豊かな人間性を備え、人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める人材、変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続ける人材、及び地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心を持って活躍する人材を育成するための教育を実践する。

本学は、1927（昭和 2）年に我が国で初めての 5 年制医育機関である財団法人大阪高等医学専門学校として大阪市東淀川区下新庄に設置された仮校舎で発足し、1930（昭和 5）年に現在の高槻市に設立された。創立者である吉津度（よしづわたる）は、大阪高等医学専門学校設置計画書において「医育機関の使命は医学教育と医学研究であり、またその研究は実地の医療に活かすことで達成される」を建学の精神として唱え、附属病院を備えた大阪高等医学専門学校を設立した。また、2016（平成 28）年には学是を「至誠仁術」と定めた（資料 1-2【ウェブ】）。

また、設立時において、看護師・助産師の育成、病院退院後の回復期施設や地域医療のための診療所の必要性などについても述べている。さらには、本学設立時の我が国では、アジアやブラジルへの海外移民政策が推進され、現地での医師不足が問題となっていた。そのような社会的背景から、本学は国内のみならず海外移民団に同行する医師の養成も視野に入れて創立された。時代とともに海外の要請や国際化への対応は変化したものの、1998（平成 10）年には本学の卒業生である元外務大臣中山太郎氏により本学に中山国際医学医療交流センターが設置され、国際交流協定のもと学生や教員の国際交流を推進している。

創立当初の理念に従い、1959（昭和 34）年に大学院医学研究科（博士課程）、2009（平成 21）年に大阪医科大学健康科学クリニック、2010（平成 22）年に看護学部（附属看護専門学校を閉校）、2015（平成 27）年には回復期病床の充実を念頭に大阪医科大学三島南病院を開設し発展してきた。

2014（平成 26）年に大学院看護学研究科博士前期課程と博士後期課程を同時に設置し、医学部と看護学部、大学院医学研究科と看護学研究科を有する大学となった。同年、学校法人高槻高等学校と、さらに 2016（平成 28）年には大阪薬科大学と法人合併を行い、学校法人大阪医科薬科大学が誕生した。2021（令和 3）年には大学統合により、医・薬・看の学部・研究科を有する医療系大学となることを計画しており、2020（令和 2）年 3 月に文部科学省への設置申請を予定している。

＜大学の理念・目的と連関した学部・研究科の目的の適切な設定

本学の理念・目的との連関性を踏まえ、学部、研究科ごとに目的の設定、すなわち教育目標を定めている（資料 1-1）。

○医学部医学科の教育目標（資料 1-4【ウェブ】）（基礎要件確認シート表 2）

- ・生命の尊厳と人権の尊重を基本に、人々の生き方や価値観を尊重できる豊かな人間性を育成する。
- ・多様な人材と共同し、医学や医療の分野で国際的に通用する新しい知識や技術を創造できる能力を育成する。
- ・科学的知識と倫理的判断に基づき、疾病および治療に関する専門知識、情報や技術を効果的に活用した医療が実践できる能力を育成する。
- ・医師として地域社会の特性を学び、多職種と連携し協働してさまざまな健康課題に取り組むことができる能力を育成する。
- ・医師として専門能力を自律的に探求し、継続的に発展させる基本的姿勢を育成する。

なお、教育目標のほか、学生の受け入れ方針（以下、「アドミッションポリシー（入学者受入の方針）」という。）、教育課程の編成・実施方針（以下、「カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）」という。）及び学位授与の方針（以下、「ディプロマポリシー（学位授与の方針）」という。）（以下、「3 ポリシー」という。）を設定している（資料 1-4【ウェブ】）。

○看護学部看護学科の教育目標

同様の教育目標と 3 ポリシーを定めている（資料 1-5【ウェブ】）。

○研究科の教育目標

目的を「本大学院は、学校教育法に基づき、医学及び看護学の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする（大学院学則第 1 条）」と定めるとともに、研究科の専攻・課程ごとに教育目標、3 ポリシーを設定している（資料 1-6、資料 1-7【ウェブ】、資料 1-8【ウェブ】）。

なお、大学の理念・目的等及び学部・研究科の目的等については、「学校法人大阪医科薬科大学寄附行為」第 3 条に定める本法人の目的との関連においても適正であると考え。

○学校法人大阪医科薬科大学の目的（学校法人大阪医科薬科大学寄附行為第 3 条）

教育基本法及び学校教育法並びに私立学校法に従い、学校等を設置し、国際的視野に立った教育、研究或いは良質な医療の実践をとおして、創造性と人間性豊かで人類の福祉と文化の発展に貢献する人材を育成することを目的とする（資料 1-9）。

点検・評価項目②：大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

| |
|---|
| 評価の視点 1：学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の適切な明示 評価の視点 2：教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等による大学の理念・目的、学部・研究科の目的等の周知及び公表 |
|---|

<大学の理念・目的、学部・研究科ごとの目的の規則等への明示>

本学の使命は学則第 1 条に、本学の目的（教育目的）は学則第 5 条に明記している。

また、研究科の目的は大学院学則第1条に明記している。しかし、その他については、現時点では明記できていない。2021（令和3）年に計画している大阪薬科大学との統合時には、学則及び大学院学則の下に各学部規程及び各研究科規程を設け、そこに学部・研究科ごとに明記できていない学部・研究科の目的等を明記するよう、現在準備を行っている（資料1-10）。

<大学の理念・目的、学部・研究科の目的の周知・公表>

| | 本学の設定 | 規則等 | 周知・公表方法 | | |
|----------------------|----------------------|------------------|--|-------------------------------------|------------------------|
| | | | 教職員 | 学生 | 社会 |
| 大学の理念 | 建学の精神 | なし | シラバス(医学部)、MISSIONカード、WEBサイト、大学要覧、事業報告書 | シラバス(医学部)、MISSIONカード(医学部)、WEBサイト | WEBサイト、大学案内、大学要覧、事業報告書 |
| | 学 是 | なし | シラバス(医学部)、MISSIONカード、WEBサイト、大学要覧、事業報告書 | シラバス(医学部)、MISSIONカード(医学部)、WEBサイト | WEBサイト、大学案内、大学要覧、事業報告書 |
| | 使 命 | 学則第1条 | 履修のてびき(看護学部)、MISSIONカード、WEBサイト、大学要覧 | 履修のてびき(看護学部)、MISSIONカード(医学部)、WEBサイト | WEBサイト、大学案内、大学要覧 |
| 大学の目的 | 教育目的 | 学則第5条 | MISSIONカード、履修のてびき(看護学部)、WEBサイト、大学要覧 | MISSIONカード、履修のてびき(看護学部)、WEBサイト | WEBサイト、大学案内、大学要覧 |
| 学部・研究科の目的 | 学部ごとの教育目標 | | | | |
| | 医学部 | なし | MISSIONカード、WEBサイト | MISSIONカード、WEBサイト | WEBサイト、大学案内 |
| | 看護学部 | なし | 履修のてびき(看護学部)、WEBサイト | 履修のてびき(看護学部)、WEBサイト | WEBサイト、大学案内 |
| | 大学院の目的 | 大学院学則第1条 | なし | なし | なし |
| | 研究科ごとの教育目的 | | | | |
| | 医学研究科 | なし | WEBサイト、大学要覧 | WEBサイト | WEBサイト、大学要覧 |
| | 看護学研究科 | なし | 教育要項、WEBサイト、大学要覧 | 教育要項、WEBサイト | WEBサイト、大学要覧 |
| | 課程ごとの教育目標 | | | | |
| | 医学研究科博士課程 | なし | WEBサイト、大学要覧 | WEBサイト | WEBサイト、大学要覧 |
| | 看護学研究科 博士前期課程(修士) | なし | 教育要項、WEBサイト、大学要覧 | 教育要項、WEBサイト | WEBサイト、大学要覧 |
| 看護学研究科 博士後期課程(博士) | なし | 教育要項、WEBサイト、大学要覧 | 教育要項、WEBサイト | WEBサイト、大学要覧 | |

図表 1-B 大学の理念・目的、学部・研究科の目的、目標の周知・公表状況一覧（資料1-11）

表に示すとおり、大学の理念、目的、目標について複数の手段を用いて周知・公表を行っている。

周知・公表の主な手段としては、教職員・学生に対しては、シラバス（医学部）（資料1-12～資料1-16）、履修のてびき（看護学部）（資料1-17）、教育要項（研究科）（資料1-18、資料1-19）である。これらは冊子体とともにウェブサイトに掲載している。社会（受験生）に対しては大学案内の冊子を作成するとともに、その内容をウェブサイトに公開している（資料1-20）。大学要覧（資料1-21【ウェブ】）、本法人が発行する事業報告書（アニュアル・レポート）（資料1-22【ウェブ】）は教職員並びに社会への周知・公表を目的としたものである。また、学生に対しては、新入生オリエンテーションや各学年の履修ガイダンス時においても周知を行っている。

なお、医学部においては、独自の取り組みとして、2018（平成30）年2～4月に「MISSION・COMPETENCEカード」を全学生・教職員に配布した。これは、医学部のMISSIONとして、建学の精神、学是、本学の使命、本学の教育目的、医学部教育目標を記載し、また、医学部のCOMPETENCEを記載し、医学部生と教職員への周知を図ったものである（資料1-23）。

また、主に社会に対して本学の建学の精神を改めて知らせ、その精神に賛同し本学への入学を強く希望する者を選抜することを目的に、「建学の精神」入試（専願制）を2018（平成30）年度医学部入学試験から実施している。若干名の定員ではあるが、建学の精神を入試に謳う全国でもめずらしいものである（資料1-24【ウェブ】）。看護学部でも、同様の入試を2020（令和2）年度入学試験から実施している（資料1-25【ウェブ】）。

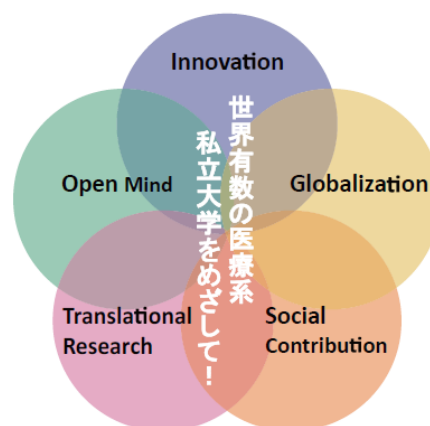
点検・評価項目③：大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。

評価の視点1：将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策の設定

＜将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策の設定＞

2015（平成27）年6月の現学長の就任に合わせて、学長の強いリーダーシップの下で本学の教学を推進するため、中期計画として教育・研究に関する5つの教学改革方針と Key Performance Indicator (KPI) を全教職員に対して FD&SD「教育・研究集会」（以下、「教育・研究集会」という。）で説明し、学報やウェブサイトで公表、周知するとともに、大学案内、大学要覧、事業報告書にも掲載している（資料1-26【ウェブ】）。

1. Innovation・・・今、行うべき改革
2. Translational Research・・・基礎から臨床研究の橋渡しと only one の研究拠点形成研究
3. Globalization・・・教育・研究のグローバル化
4. Social Contribution・・・社会貢献活動と社会的責任
5. Open Mind・・・情報の発信と共有化、教職協働



図表 1-C 5つの教学方針

また、学校法人としては「学校法人大阪医科薬科大学 中（長）期事業計画 2019 - 2025 ～Society5.0における Super Smart 教育・研究・医療の実践～」が定められており、その中で教育、研究及び医療について今後の重点課題を明示した。事業報告書はウェブサイトに掲載して公表するとともに、冊子を作成して全教職員及び学生への周知を図っている（資料1-27【ウェブ】）。

さらに、毎年度「学校法人大阪医科薬科大学 事業計画」を策定し、教育・研究への取り組みについて重点項目を掲げている。これもウェブサイトに掲載して公表するとともに、冊子を作成して全教職員及び学生への周知を図っている（資料1-22【ウェブ】）。

大学としての中長期計画は、これまで教学改革方針を掲げるにとどまっているが、大阪薬科大学との統合後には、新たな大学として将来を見据えた計画及び諸施策の設定を行っていく予定である。

(2) 長所・特色

- ・本学の理念・目的は適切に設定され、それらと学部・研究科の目的・目標の連関性も適切である。また、本学の理念・目的及び学部・研究科の目的を刊行物や本学ウェブサイトに掲載し、学生、教職員、社会に対してこれらを周知・公表している。
- ・医学部では「MISSION・COMPETENCE カード」を全学生と教職員に配布し、人材育成その他の教育研究上の目的の明示と共有を図ろうとしていることは評価できる。医学部のみが対象であり、2019（令和元）年度は配布できていないが、2020（令和2）年度には各学部のカードを作成・配布することを検討している。
- ・学長自らが中・長期計画として教学改革方針を掲げ、年2回開催する教育・研究集会において教職員・学生向けに説明を行っていることや、ウェブサイトや種々の刊行物にも掲載して社会に対して広く公表していることは評価できる。

(3) 問題点

- ・学部・研究科ごとの教育目標（目的）を定め、公表・周知しているが、学則またはそれに準ずる規則等に明記できていない。2021（令和3）年に計画している大阪薬科大学との統合時には、学則及び大学院学則の下に各学部規程及び各研究科規程を設け、そこに学部・研究科ごとの目的を明記するよう準備を行っている。
- ・医学部学生に配布している「シラバス」と看護学部学生に配布している「履修のてびき」で、建学の精神、学是、3ポリシー、及び教育目標等についての記載状況が統一できていない。現在作成中の「シラバス」と「履修のてびき」においては記載を統一しており、2020（令和2）年度にはこの問題は解消される予定である。
- ・本法人全体の中長期計画及び事業計画については策定しているが、大学としての中長期計画はこれまで教学改革方針を掲げるにとどまっている。ただし、大学統合後の大阪医科薬科大学（仮称）中長期計画の策定を進めており、改善できる見込みである。

(4) 全体のまとめ

本学の理念・目的は、「建学の精神」に基づく内容となっており、学部・研究科における目的についても、本学の理念・目的との関連性が十分に保たれ、本学の特徴が表れた適切な内容となっている。

また、これらの理念・目的は、明示や周知に一部改善すべき点があるものの、ウェブサイトや刊行物等に掲載し、広く社会に公表するとともに、教職員及び学生に対しても説明会等で周知徹底を図ることができている。これらの理念・目的は、第2章において記載のとおり、教育及び研究戦略会議(全学的な内部質保証の推進を担当する学内組織)が毎年度検証するための体制を整備しており、これをもって更なる内容の向上を図るとともに、本学の中長期計画の策定及びその検証をもって、本学の理念・目的等の実現を推進する。

なお、本学と大阪薬科大学は2021（令和3）年4月の統合に向けて準備を進めており、統合後の理念・目的の検証や理念・目的の実現に向けた履行に努める。